



新しい教育の流れをみつめて

これからの世の中、AI(人工知能)が発達していくと、10年後、今ある仕事のほぼ半分がなくなると大学の研究が話題になっています。

技術革新がすごいスピードで進んでいます。(携帯電話の進化を見てもそれは実感します。阪神淡路大震災の時は、携帯電話を持っている人は少なかったです。今は、携帯電話からスマホに代わり、ほとんどの方が持っています。また、スマホでない携帯電話はアナログ(時代遅れ)の扱いです。)

学校教育も、道徳の教科化、外国語学習の新設、プログラミング教育の新設等、教える内容も新しく増えていきます。また「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざし、教え方も改善を求められています。2020年には、大学入試の制度も大きな改革を迎えます。

「不易」と「流行」という言葉がありますが、変化の部分は「流行」の部分だと言えます。教育の目的は「人格の形成」であり、その時代を生き抜いていくためのスキルや社会性や心を育てていくことは変わりません。「不易」の部分です。

どちらのバランスもうまくとりながら進めていくことが肝要だと考えています。

本校の歴史の中には、分校そして新しい学校ができた時代、山の人口が多く児童もたくさんいた時代、特認校制度を取り入れた時代と、その時々々の社会情勢等によって改革をしてきました。本校が今までに大切にしてきたこと(不易)を残しながら、新しいこと(流行)に取り組んでいかなければなりません。スクラップアンドビルトの精神で学習や学校行事等を見直して、変えていくところがでてくるでしょう。PTA 役員会や学級懇談会などで、保護者のご意見も伺いながら、学校運営・学校改革を進めていきたいと考えています。ご協力よろしくお願いたします。

教頭 岡村 英一郎

※台風の影響で停電が続き、ご不便をおかけしました。火入れ式・PTA 茶話会は、11月9日(木)に延期にしました。また、音楽会の学習にも保護者のたくさんのご支援・ご協力をいただき、感謝しております。ありがとうございました。

